

CASBEE® 京都-新築

標準システム 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 京都-新築 (2011年版) 使用評価ソフト: CASBEE 京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	府営住宅桃山日向団地3号棟	階数	地上5F
建設地	京都府京都市伏見区桃山町日向地	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	55 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 予定	評価の実施日	2013年6月1日
敷地面積	4,959 m ²	作成者	馬場正哲
建築面積	469 m ²	確認日	
延床面積	1,752 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超 ☆

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 74%

③上記+②以外の 74%

④上記+ 74%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	2.7
光環境	3.0
空気環境	2.9
総合	3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.4

機能性	1.6
耐用性	3.2
対応性	2.6
総合	2.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0
総合	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

建物の	3.0
自然エネ	3.5
設備システ	3.1
効率的	N.A.
総合	3.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

水資源	3.0
非再生材料	3.7
汚染物質	3.0
総合	3.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	4.0
地域環境	2.0
周辺環境	3.0
総合	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	●既存府営住宅の老朽化に伴う建て替え計画であり、山麓型修景地区であることをふまえ、景観的な配慮を行っている。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
●内装材は、接着剤等について、化学物質が発散しない材料を使用している。	●日本住宅表示基準「3-1.劣化対策等級(構造躯体等)」等級3相当。	●既存緑地を極力残すと共に、透水性を備えた外構仕上材を使用している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
●屋根面に太陽光パネルを設置している。	●節水コマの採用。 ●住戸内装下地材に京都市内産材を利用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい